

# 関東ブロック商工会女性部 交流研修会開催

七月八日(木)から九日(金)の二日間、山梨県富士河口湖町において、関東ブロック商工会女性部交流研修会が約一、五〇〇名の参加を得て開催され、新潟県からは七十八名の皆さんから参加いただきました。

一日目は「河口湖ステラシアター」を会場に関東ブロック主張発表大会が開催され、各都県連の代表者による発表がありました。充実した内容で、レベルの高い大会となりました。成績は次のとおりです。

- 最優秀賞** 茨城県 つくば市商工会  
高田美智子さん
- 優秀賞** 栃木県 矢板市商工会  
宮崎 征子さん
- 優良賞** 神奈川県 城山商工会  
鈴木 牧子さん



新潟県代表 本白光代さん

なお、最優秀賞の高田さんは、関東ブロック代表として十一月に開催される全国大会(茨城大会)へ出場することとなりました。

発表大会に続いて落語家 三遊亭小遊三師匠を講師に「笑う門には、福来る」と題し、講演が行われました。

その後、会場を「富士ビューホテル」へ移動し、約四五〇名の参加のもと、情報交換会が行われ、各県の芸能を披露しながら大変和やかな雰囲気の中、他県の女性部の皆様と交流しました。

翌日は、「河口湖オルゴールの森」を見学、河口湖ハーブ・フェスティバルを視察し、その後、「ホテル鐘山苑」にて昼食をとり、一路新潟へ向かい、二日間の日程を終了しました。



## 関東ブロック商工会女性部 交流研修会に参加して



白根商工会女性部 副部長 和田 恵美子

朝、曇ってはいましたが、雨に降られることもなく出発できました。

バスでは会話とさわめきの中、前の席から「おはぎと漬物」のセットが人数分配られたり、後ろの席から飴やお菓子、枝豆が回ってきたりでもとても友好的な車内でした。

河口湖ステラシアターは、後ろを開放すと富士山が現れる開放感のあるステージです。開会式の後、主張発表大会が行われました。各都県連代表者の発表は、誓いの言葉そのままに、女性の特性を活かして地域振興の発展に努め、アイデアに富んだ方法で、活動されていることに驚き感動いたしました。

その後、三遊亭小遊三師匠の基調講演は『笑う門には、福来る』という演題で、

落語家仲間の裏話などを「笑点」をもとに分かりやすく面白く語ってくださいます。

会場をかえ、富士ビューホテルの情報交換会では、各都県女性連の情報発信や郷土芸能を趣向を凝らした衣装や小道具で楽しませていただきました。

翌日は、河口湖オルゴールの森でゆっくり音楽の世界を楽しみ、河口湖ハーブフェスティバルでは富士山を仰ぎながら、一面紫色のラベンダーが香り咲き誇るのを眺め、ホテル鐘山苑では趣のある日本庭園を眺め、心静かに昼食をいただくことができました。

二日間心こもった感動の旅をありがとうございました。

## 関東ブロック商工会女性部 交流研修会に参加して



寺泊町商工会女性部 部長 三上 規子

河口湖ステラシアターでの各都県女性連代表十一名による活動発表と基調講演も盛会裏に終了し、閉会式時にステージのバックがオープンとなり、一枚の絵の様なすばらしい富士山が真正面に映え、会場全員の歓声とともに閉会となりました。

情報交換会場を富士ビューホテルに移し、約四五〇人との交流会が開会しました。寺泊町商工会女性部のタスキをかけた

私たち三人と、新潟県商工会女性部のゼッケンを背中につけて参加くださった副会長さんら四人とで、フラダンス「赤いレイ」を披露させていただきました。交流会に参加の女性部さんから、「私も出たかったわ」、「さわやかでよかったです」、との声をいただき、「大役を終えさせていた安堵と、寺泊に帰りよい報告をさせていただいたことに、大いに喜んで居ります。」



### 地域と共に輝く 女性部を目指して

小須戸商工会女性部  
部長 高橋 綾子

日本一のポケの産地である秋葉区小須戸。その地で私達女性部は、現在四十三名の部員で、事業・研修・親睦の三委員会に分かれ活動しています。時には委員会の壁を越えて、和気あいあい助け合って活動しています。

商工祭やポケ公園祭への出店、日帰り研修、町屋ボランティア等。そして何をおいても一押しは『新年会』。衣装に小道具にと準備万端とっておきの歌や踊りで、この時ばかりは男子禁制！足の痛さも忘れ、軽やかなステップのレクダンスで、年間事業の最後を締め括ります。



この女性部パワーを地域のために活かし、小須戸をもっと元気な街にしたい！小須戸の良さを多くの方に知ってもらいたい！こんな思いから「ふるさと小包グランプリ」に応募することになりました。しかしそれからが大変で、あれやこれやと会議を重ね、ようやく在郷町小須戸「町屋のおもてなし」の完成となりました。

「注文がどんどん来るんじゃないの？」  
「え〜どうする〜。」  
などと、大笑いしながらの撮影となりました。

これからも、活動の中に見出し、長年培ってきた「和を大切にしながら、自分こそして地域を輝かせることができる女性部活動を目指していきたいと思っています。」



### 長寿鈴作りに 心を込めて

青海町商工会女性部  
部長 齋藤 富貴子

昨年四月、部長という重責を担い、一年間部員の皆様に支えていただきながら、何とか幾つかある行事を終えることができました。二年目の今年こそは、少しでも前進しなければ、と意気込みだけはしたものの、なかなか思うようにいかないのが現実です。

昨年、部員さんから、二十数年続いている、新入児童への「交通安全の鈴」贈呈を今年からお年寄りにもあげたら良いのでは、との意見がありました。「世界一長寿国 日本」それならば・・・「日本一長寿 青海」をとの話になり、部員皆の協力で敬老の日に向けて、只今製作しています。何か一つでも地域のお役に立てれば、との部員皆の心のこもった「長寿鈴」。九月の各地域における敬老祝賀会の日に贈呈したいと思っています。元気で長生きをし、私たち若い者の、良き指導者であって欲しい。心からそう願っております。

今年も夏祭りのイベントが終わり、部員一同家業に専念し、来年度の交通安全の鈴、長寿鈴作りに頑張って精を出します。た・め・に！



### 私たちの女性部活動

関原地区商工会女性部  
部長 藤塚 正子

私達の住む関原町は、日本で初めて火炎土器が発見された太古のロマンを秘めた歴史ある町です。現在部員四十名で活動しています。今回は、五年前から始まった「関原産物産物祭り」での活動をご紹介します。商工会が主催する産物祭りでは実行委員として協力し、手作り品や古着などのフリーマーケット、揚げスナック菓子等を販売しています。一番のヒット商品は、ハワイ産の「アロハタワシ」です。材料をハワイから調達して、部員みんなで作りました。販売しました。鍋のこびりつきに威力を発揮し、水切れが良く衛生的で料理屋の女将さんも絶賛のタワシです。産物祭りですぐに完売になる程でした。自分達の手で活動費を捻出できる喜びは一入のものがあります。

他にも「関原町花いっぱい運動」を始め、地域になくはない女性部として、今輝いています。これからも部員の親睦を図りながら、地域に貢献できる活動をめざしていきたいと思



### 芸妓組踊りの伝承

両津商工会女性部  
部長 奥 田 富子

八月七日夜、両津最大のお祭「川開き七夕まつり」の民謡流しに初めて参加しました。おけさ流しは通常、浴衣に編笠を被って踊りますが、我が女性部は髪をアップに結い上げて編笠は被らず、紺の黒紋付（緋の伊達襟と裾返し）に金・黒・緋三色格子の帯を文庫に結び、芸妓組踊りで華やかに踊りました。

昭和三十年代、両津の観光旅館街が賑やかだった時代、お座敷で芸者さんが踊っていた佐渡おけさと両津甚句の組踊りを、部員の有志が習ってきて皆に教えてくれたのが始まりでした。当時は若かった芸者さん達はもう八十歳。このままでは廃れてしまう。習うのなら今うち、他に継ぐ人がいないのなら、両津商工会女性部が伝承するのが最良だということになりました。

踊り手の女性部員を他の部員が衣装デザイン・髪結び・着付け・メイクで協力、力を結集して「両津商工会女性部の芸妓組踊り」が完成しました。

この三年間、あちこちから出演依頼が来て女性部は大忙しでした。その艶やかさ？に憧れて、美容師組合さんやバレエ仲間のお母さん達、バスガイドさんからも教えてと頼まれました。今ではおけさ流しにはお揃いの黒紋付で一揃いに参加するようになりました。今後は地域のイベントから範囲を広げ、施設の慰問にも積極的に活動してまいります。



## 今後の予定

### 第12回 商工会女性部全国大会 (茨城大会) 並びに商工会法施行50周年記念式典

日程：平成 22 年 11 月 25 日(木)～27 日(土)

- 25 日 (木) 【女性部全国大会・研修会】 茨城県つくば市「つくばカピオ」
- 25 日 (木) 【交流会】 茨城県つくば市「つくば国際会議場」
- 26 日 (金) 【50周年記念式典】 東京都千代田区「日本武道館」
- 26 日 (金) 【新潟県連懇親会パーティー】 東京都港区 「ホテルオークラ東京」
- 27 日 (土) 【全国物産展】 東京都豊島区 「池袋サンシャインシティ」

皆様のご参加をお待ちしております！

## 県女性連災害対策事業特別基金への協力について

女性部員相互扶助の精神に基づき、県内において災害が発生した際、早急に対応するため、新潟県商工会女性部連合会として災害対策事業特別基金を設け、予算の範囲内で被災部員への迅速な支援を図っていくこととなりました。

部員一人当たり 100 円の賦課金のご協力をよろしくお願いいたします。



## 県女性連ホームページ リニューアル！

<http://www.shinsyoren.or.jp/women/women.html>

女性部活動を広げる場として、県女性連公式ホームページを開設しています。

県女性連や商工会女性部の活動を掲示しています。ぜひ、ご覧ください。

### 編集委員

#### 【県女性連正副会長】

末武 栄子・五十嵐 芳枝  
金子 トシ子・中嶋 千代子  
奥田 富子

#### 【事務局】

新潟県商工会連合会組織指導課  
「しなの川」担当係  
電話 025-283-1311  
FAX 025-285-1252  
<http://www.shinsyoren.or.jp/women/women.html>

### あとがき

本誌の発行に際しまして、ご多忙の時期に関わらず、ご寄稿等ご協力頂きました皆様方に心から感謝申し上げます。「しなの川」も本号で56号となりました。

今後も充実した誌面内容になるよう各女性部の皆様のご協力をいただきながら、がんばってまいりますので、掲載希望等がございましたら、事務局までお申しつけください。今後ともよろしく願いいたします。

